

選ばれることを目指そう

人生は「選ばれる」ことの連続

受験や就職活動、恋愛や結婚など人生のどんな場面でも「選ばれる」という段階が必ずあります。大きな節目だけではなく、日々の生活のあらゆる場面で「選ばれる」という局面が存在しています。

この人が選ばれる理由はなんだろう？



「選ぶ」側の考え

(アップル・ジャパンの社長をしていた山元賢治さんという方の話から)

「選びたい」と思わせる空気感がある！

<会った瞬間に伝わること>

- 普段、どういう姿勢で生きているのか
- どの程度の覚悟を持って社会に出ようとしているのか
- どの程度の覚悟を持って進学しようと思っているのか

背中をピンと伸ばして堂々としているか

新しい世界への期待感に目を輝かせているか

普段の生きる姿勢から、自然と出てくるもの！

つまり

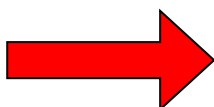
新卒者の採用は会社にとって「2億円の買い物」

面接は会社にとって「買い物」だと山元さんは考えるそうです。(2億円というのは、人が一度入社して定年までずっと働いた場合の生涯賃金のおおよその額です。) 会社はわずか数十分の対話だけで、雇用を約束するかどうか判断するわけですから、一瞬で相手を見抜くための基準を持っています。皆さんが一夜漬けで就活のテクニックを身に付けても、簡単に見透かされてしまいます。(大学の面接も同じ)

企業が人物をチェックする4つのポイント(進学希望者にも関係あるよ)

柔軟性	「こんなことばかりやらされている」という被害者意識はNG。偏見を持たずに新しい事態や状況に入れる健全な好奇心を持つこと。
論理的思考力	自分が伝えたい内容を整理して、相手にわかりやすく説明する力を持つこと。
継続力	何かをやり続けられる力があるかどうか。困難に直面した時も放り出したくなかった時も、乗り越えてきた人には一定の力がある。
リーダーシップ	人任せではなく、当事者意識を持っていること。自分自身で考え自分自身で決定し責任を持って物事に取り組むこと。

選ばれる人



なりたい自分・目標をしっかりと定義し
それに向かって突き進む人